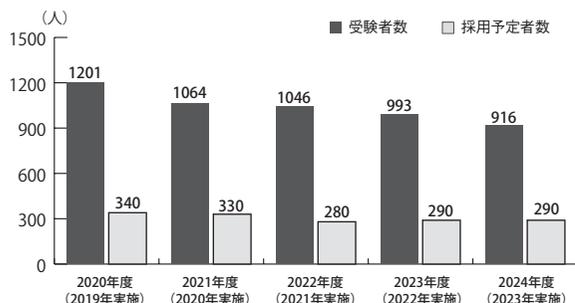


# 岩手県

面積	15,275 km <sup>2</sup>
人口	1,143,408 人
県の花	キリ
県の木	ナンブアカマツ
県の鳥	キジ

求める教員像	①分かりやすい授業ができ、児童生徒に確かな学力をつけることができる教師 ②児童生徒に対する愛情を持ち、一人ひとりの児童生徒と真剣に向き合うことができる教師 ③豊かな人間性を持ち、幅広い教養と良識を身につけている教師 ④教員としての使命感や責任感を持っている教師
出願期間	公開日 4月3日(水) 電子申請 4月18日(木)~5月8日(水) 17:00 書類郵送 4月18日(木)~5月15日(水)〈簡易書留・消印有効〉
試験日程	1次試験 試験日 7月13日(土) 合格発表日 8月7日(水) 2次試験 試験日 面接等:8月下旬~9月中旬 実技試験:8月31日(土) 合格発表日 9月27日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	<b>[小]</b> <b>[中]</b> 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 外国語(英語) <b>[高]</b> 国語, 公民, 地理歴史(日本史, 世界史, 地理), 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 芸術(美術), 情報, 保健体育, 家庭, 農業, 工業(機械, 電気, 建築, 工業化学), 商業, 外国語(英語) <b>[特]</b> (小)(中高)国語, 公民, 地理歴史(日本史, 世界史, 地理), 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 芸術(音楽, 美術), 情報, 保健体育, 家庭, 外国語(英語) <b>[養]</b>
特記事項	<b>■特別選考 ●社会人特別選考</b> [高]工業(機械, 電気), 情報志願者で、博士の学位を有する者、又は民間企業等に従事し令和6年4月1日現在同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも工業及び情報に関する高度な専門的知識や技能を有し、熱意と識見を有する者は、1次は書類選考、2次は個人面接(口頭試問を含む)を別日程で実施。 <b>●大学推薦特別選考</b> [高]農業, 工業(機械又は電気), [養]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次は書類選考、2次は個人面接(口頭試問を含む)を別日程で実施。 <b>■障がい配慮した選考</b> 試験内容等は一般選考と同じ。障がいに応じた配慮を行う。また、障がいの程度に応じて2次の実技の一部を免除。 <b>■優遇措置 ●一般選考A(岩手県現職教員)</b> [小・中]志願者で本県公立高・特支の現職教員、又は[高・特]志願者で本県公立小・中の現職教員は、1次の教職及び論文を免除。 <b>●一般選考B(他都道府県現職教員)</b> 他都道府県国公立で令和6年3月31日現在3年以上の経験を有する正規現職教員は、1次の教職及び論文を免除。 <b>●一般選考C(臨時的任用教職員経験者)</b> 県内国公立の講師等としての経験が令和3年4月1日~令和6年5月10日に通算12月以上ある者は、1次の教職を免除。

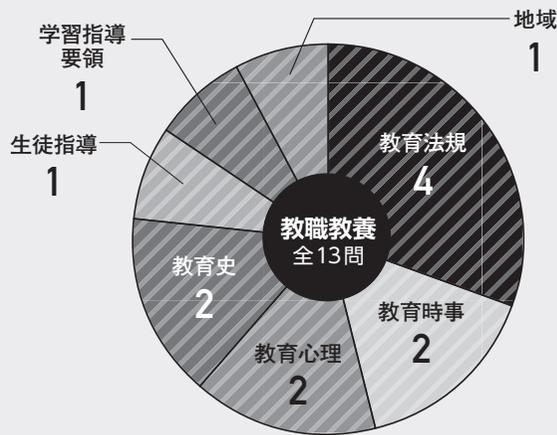
## ▼受験者数等推移



## ▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	6,611	1,185	341
不登校(人)	617	1,388	583

## 2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



\*「地域」には「教育時事」も含まれる。

- ▶ 頻出の「生徒指導提要」
- ▶ 教育時事で要注意のご当地問題
- ▶ 教育法規は教育基本法, 地方公務員法(服務), 学校保健安全法

学習指導要領では、前文から教育の目標に関する問題が出題された。

生徒指導では、「生徒指導提要」の「第1章 生徒指導の基礎」から生徒指導の実践上の視点や生徒指導の構造等に関する問題が出題されたほか、「第4章 いじめ」からいじめ防止につながる発達支持的生徒指導に関する問題や「第10章 不登校」から不登校対策につながる発達支持的生徒指導を問う問題もみられた。

教育時事ではご当地問題が頻出であり、今年度は「岩手県教育振興計画(2024~2028)の概要」(2024年)から「基本目標」や「取組の視点」の理解を問う問題がみられた。また、国レベルの時事については、「第4期教育振興基本計画」(2023年)から「Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針」に関する問題が出題された。このほか、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)」(2022年)も出題されている。

教育法規では教育基本法と地方公務員法(服務)

が必出であり、学校保健安全法が頻出である。今年度は、教育基本法から第2条が、地方公務員法から第34, 36, 37条等が、学校保健安全法から第19条が、それぞれ出題された。このほか、憲法や教育公務員特例法、学校教育法施行規則、児童虐待防止法、こども基本法等も出題されている。

教育心理ではさまざまな領域から出題されている。今年度は人格理論(欲求階層説)、人格検査(モーズレイ人格目録)、教育評価(ピグマリオン効果)、学習理論(マスタリー・ラーニング、エビングハウス)のほか、防衛機制(合理化、反動形成等)に関する問題がみられた。頻出の人物名・理論・理論の特徴を整理したい。

教育史では、西洋教育史と日本教育史から幅広く出題されている。今年度は、西洋教育史の人物(ルソー、ペスタロッチ、デューイ、キルパトリック、ブルナー)の理解を問う問題と日本教育史の人物(貝原益軒、吉田松陰、福沢諭吉、森有礼、津田梅子)に関する問題がみられた。